

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年6月18日(2025.6.18)

【公開番号】特開2024-169776(P2024-169776A)

【公開日】令和6年12月6日(2024.12.6)

【年通号数】公開公報(特許)2024-229

【出願番号】特願2023-86085(P2023-86085)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の駆動スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

前記可動体は、前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合に、前記駆動スケジュールの途中で前記駆動スケジュールに基づく動作を終了可能であり、

さらに、前記可動体は特定発光体を有しており、

前記特定発光体は、前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能であり、

前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の駆動スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

前記可動体は、前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合であっても、前記駆動スケジュールが完了するまで前記駆動スケジュールに基づく動作を継続可能であり、

さらに、前記可動体は特定発光体を有しており、

前記特定発光体は、前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能であり、

前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成

40

50

立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、大量の出玉を付与した遊技機等に関して、従来と同様の制御を行うだけでは、遊技機の管理が不十分であった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の駆動スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、

前記可動体は、前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合に、前記駆動スケジュールの途中で前記駆動スケジュールに基づく動作を終了可能であり、

さらに、前記可動体は特定発光体を有しており、前記特定発光体は、前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能であり、

前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能である

ことを特徴とする。

また、請求項2に係る発明においては、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の駆動スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、

前記可動体は、前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合であっても、前記駆動スケジュールが完了するまで前記駆動スケジュールに基づく動作を継続可能であり、

10

20

30

40

50

さらに、前記可動体は特定発光体を有しており、  
前記特定発光体は、前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能であり、  
前記可動体が前記駆動スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能である  
ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することができる。

30

40

50